

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付しています。所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。但し、消耗品・ソフトウェアは除きます。

■調子が悪い時は

この「取扱説明書」をもう一度よくお読みいただき、お調べください。意外な操作ミスが故障とされている場合もあります。本機以外の原因も考えられます。他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでも異常がある場合は、修理を依頼してください。また、修理を依頼される時は、下記の必要事項を修理窓口までお知らせください。

①お名前 ②お電話番号 ③ご住所 ④製品名 ⑤詳しい状況

■保証期間中の修理は

万一故障や異常が生じた場合は修理窓口へご連絡のうえ、製品と保証書をご郵送ください。

■保証期間経過後の修理は

修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、修理窓口にご相談ください。

修理窓口 TEL (0827)22-2525 ワイズエポック(リビエールへいあん内)

ホームページ <http://ys-epoch.com>

主な仕様

型式:ステレオ特殊センタースピーカー(密閉型)

定格インピーダンス:8Ω (minimum6.6Ω)

最大入力:80W

外形寸法:

●本体:H245×D340×W440(mm)

●外付けネットワーク:H127×D185×W275(mm)

●専用スタンド:H200×D340×W440(mm)※別売

材質:木製

付属品:取扱説明書・保証書

※本体+外付けネットワーク+2mケーブル4本のセットです。アンプからのケーブルは別途ご用意ください。※専用スタンドは別売です。※仕様・外観は性能向上のため予告なく変更する事があります。

ご購入された時にご記入ください。
修理を依頼する時に、お役に立ちます。

ご購入年月日: 年 月 日

製造番号(SERIAL):

メモ

TRINI★STAR® SERIES NDR1

無指向性センタースピーカーシステム トリニスター エヌディーアールワン

取扱説明書



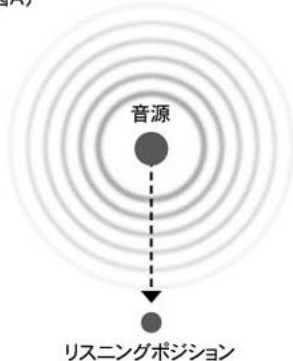
Photo:トリニスター NDR1
① 外付けネットワーク ② 本体 ③ 専用スタンド

このたびは「TRINI★STAR NDR1」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管ください。

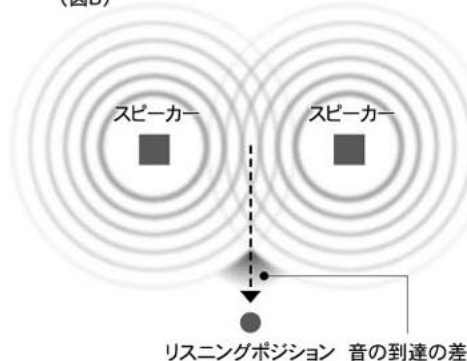
スピーカーの再現性

初期のスピーカーはモノラル(1本)でした(図A)。目の前にドンと存在感があったのです。それが左右に2本、つまりステレオになったのですが、その時の驚きと歓びは凄まじいものでした。しかし、代わりに失ったものは、目の前から聴こえる実在感。1本から2本への進化は、真ん中で聴こえるもののみならず、聴こえるすべての音源を、必ず左右のスピーカーで合成しなければ成り立たない状況を作り上げてしまったのです。従って、すべての再生音は部屋の影響を大きく受けることとなりました。また、このことはもう1つ大きな欠陥を抱えていました。同心円で拡がる音波は、左右の真ん中で聴くリスナーに最悪の再現性をもたらしたのです。

■モノラル(スピーカー1本)の音の再現性
(図A)



■ステレオ(スピーカー2本)の音の再現性
(図B)



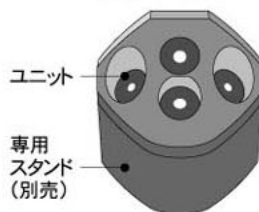
(図B)に示すように、2本のスピーカーをどのように配置したとしても、リスニングポジションは、両スピーカーから届く音波の谷間となります。しかも、最も谷が深い部分であり、左右にわずかでも頭を振ると、真ん中の音源は少しではあっても、定位が不安定になります。さらに、同心円の線がアタック音(音波)の到達を示すとしたら、(図A)のように、すべての音源はリスナーがどこにいても正しくアタック音が最初に届くのに比べ、左右2本のステレオのアタック音の到達が極めて遅いため、再現された再生音は、アタック感の弱い、生気を失いがちなものになってしまうのです。

本機の特徴

「TRINI★STAR」の基本は、同じスピーカーを3本使うことですが、時を重ね完成度をあげた現行のステレオスピーカーシステムはそれを拒みます。様々な研究を繰り返し、無駄なものを省いて必要なものに特化したのが、世界初のステレオ用センタースピーカーシステム「TRINI★STAR」です。このシステムは、お持ちの2chステレオやホームシアターシステムに加えるだけで、究極の立体音場効果を発揮。今まで見たこともないシステム(※)が、今まで聴けなかった、あるべき自然な音場をお部屋いっぱいにも再現します。

※「マトリクス」でも「DSPシステム」でもない、全く新しいカテゴリーの製品です。

本体カラーは全2色
(木目・ブラック)



正しいセッティング方法

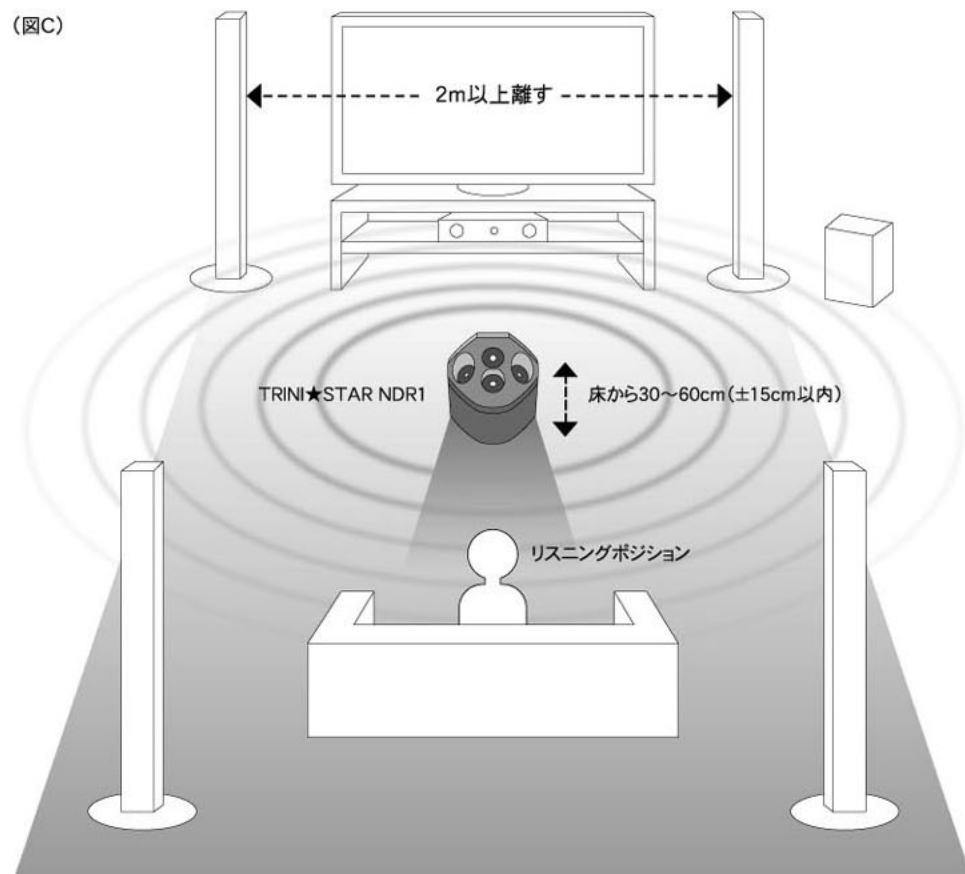
(1) オーディオ用アンプに接続する場合

「TRINI★STAR NDR1」は、専用スタンド(別売)の上にセッティングした時に、最適な効果が発揮できるよう調整されておりますが、床から30~60cm(±15cm以内)の高さがあれば、効果に問題はありません。

(2) ホームシアター用AVアンプに接続する場合

「TRINI★STAR NDR1」は、左右のフロントスピーカー端子に接続し、フロントスピーカーと同時に鳴らしてください。本機が扱う周波数は、フロントスピーカーより高いので、同時に鳴らしても破損することはありません。マルチチャンネルのセンタースピーカーと「TRINI★STAR NDR1」を同時に鳴らすことで、さらに効果を発揮します。本機はセンタースピーカーより手前にセットして使用しますが、さらに手前にセットすると立体感が増し、センターの音は奥行が豊かに再現されます。

(図C)



接続方法

■スピーカーを接続する前に

本機は、本体に外付けネットワークを接続することにより音のバランスが調整できるよう、セッティングしております。
アンプから直接、本体に音信号を入力しないでください。破損の原因となります。

※必ず電源を切って作業をしてください。※スピーカーケーブルの芯線のプラスとマイナス、L(左)とR(右)を絶対に接触させないでください。また、間違えて接続すると、音が不自然になったり、故障の原因となります。
※お持ちのアンプにスピーカー端子が1セットしかない場合は、そのスピーカー端子へ一緒におつなぎください。

本機はアンプやスピーカーの左右フロントスピーカー端子に接続します。接続は、図Dに従っておこなってください。

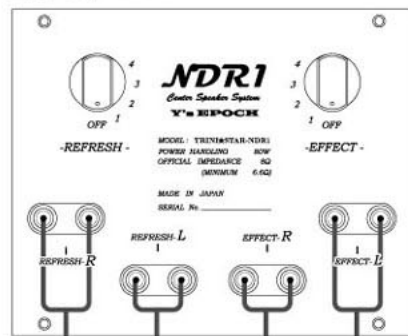
付属の4本ケーブルは、外付けネットワークと本体の間でお使いください。「EFFECT」のLは「EFFECT」のLに、「REFRESH」のLは「REFRESH」のLに、それぞれ同じ文字同士で接続し、+と-を間違えないようにお気をつけください。
外付けネットワーク側はYラグ端子で、本体側はバナナプラグで仕上げてあります。

アンプやスピーカー端子から接続するケーブルは、市販の出来るだけ高品質ケーブルをご使用ください。

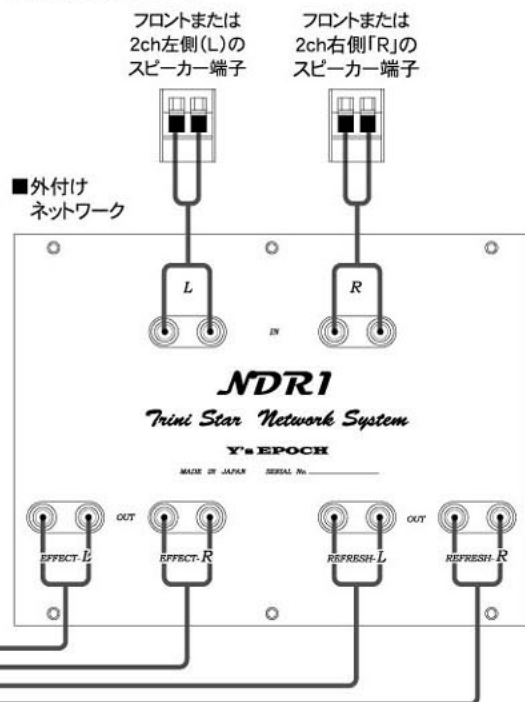
※因みに付属のケーブルは、あらゆるケーブルを試聴した結果、最高のパフォーマンスが示せるものを選択しております。
同条件で10万円以下のもので、これ以上の結果が出ることは稀です。
「Zonotone 6NSP-4400S Meister」を使用しております。

(図D)

■トリニスターNDR1



■アンプまたはスピーカー



レベル設定

■メインスピーカー出力音圧レベル (図E)

82dB~100dBに対応しています。

■REFRESH:リフレッシュ

音楽が持つ鮮度と、あなたのお部屋固有の音響的な癖をリフレッシュするのが大きな目的のつまみ(図E)です。※OFFは無接続状態です。

■EFFECT:エフェクト

本機本来の効果を左右する大切なつまみ(図E)です。※OFFは無接続状態です。



レベル調整

お手持ちのステレオスピーカーシステムの出力音圧レベルに合わせてレベルを調整します。

2つの“つまみ”は同じ値が基準です。2つ以上差がないようにされた方が初期の効果を得やすいでしょう。

以下のレベルを基準に調整してください。

レベル4 100dB~91dB	レベル3 93dB~87dB	レベル2 90dB~84dB	レベル1 88dB~82dB	OFF 無接続状態
--------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--------------

※上記のレベルはあくまでも基準値です。本機を設置する位置やお部屋の条件により、耳に届く音圧も異なります。

適正な効果について

本体のリアパネルにあるレベルセッティングの“つまみ”には、OFFのポジションを設けています。

試聴して最適と思われるポジションとOFFとを比較し、次のことをお確かめください。

- ① 写真でいえば逆光で撮った人の顔のように、やや顔が薄暗く影のように写っているものに、フラッシュを使い、顔にも十分光を当てたような効果が出ていれば、基本的に適正レベルと言えます。
- ② 次に、あなたが最適と思われるポジションとOFFを各楽器の定位する位置を比較しながら聴き比べてみてください。右にある楽器は右に、左にある楽器は左に、より前後の立体感や臨場感、実在感をもって再現できるよう、本機を左右に少しずつ回転させ、最適なポジションをお探しください。
- ③ ベストリスニングポジションで最適な再生ができるようにセットされたシステムです。よって、左右のスピーカーの真ん中の延長線上に正しくお座りください。最適なポジションはその位置のみとなります。
- ④ 本機は82dB~100dB以下の出力音圧レベルの家庭用ステレオスピーカーと組み合わせてお使いいただくように設計をしています。ホール等における大音量でのご使用を前提としておりません。家庭内でお楽しみください。

取り扱い上の注意

■過大電流について

本機は、通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故が生じる場合がありますのでご注意ください。

- ①ピンコードなど接続端子の抜き差し時のショック音
- ②アンプが発振している時
- ③オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
- ④発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
- ⑤マイク使用時のハウリング
- ⑥テープレコーダーなど早送りした時の音
- ⑦ラジオが正しく受信していない時のノイズ など

メンテナンスについて

本機4つのユニット(スピーカー部)は、手で触れたり物が当たったりすると、へこんだり破損したりしますので、十分にご注意ください。なお、多少のへこみは、再生する音にそれほど大きな影響はございません。



へこみを直す方法として、セロテープなど接着力の弱いテープを軽く貼り付け、慎重に引っ張れば元に戻ることもあります。個人の責任において行ってください。また、破損した場合は有償にて修理をいたします。お気軽に当社修理窓口までご連絡ください。

修理窓口 TEL (0827)22-2525 ワイズエポック(リビエールへいあん内)

製品の表面は、時々柔らかい布でからぶきしてください。
指紋等は、長い期間放置すると、拭いても取れにくくなりますのでご注意ください。
汚れがひどい時は、中性洗剤をうすめた液に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取った後、乾いた布で仕上げをしてください。
固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のものはご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いの場合は、注意書きなどをお読みください。
スピーカー部分に埃がついた時は、レンズ用エアブラシをかけると、埃を取ることができます。

オーディオ機器の正しい使い方

■安全にお使いいただくために、必ずお読みください。

-  **警告** 表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** 表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

■故障したまま使用しない



煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、修理窓口、または販売店にご連絡ください。

■改造しない



本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■水のかかるところに置かない



風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。本機は屋内専用で設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■水の入った容器を置かない



本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品など水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■中に物を入れない



本機の内部に金属物や燃えやすい物を差し込んだり落したりしないでください。火災・感電の原因となります。

■中に水や異物が入ったら



すぐにアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理窓口、または販売店にご連絡ください。

注意

■設置上の注意



ぐらつく台の上や傾いた所、厚手のじゅうたんのするなど、不安定な場所に置かないでください。移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、スピーカーケーブルをはずしてから行ってください。また、スピーカー部には手をかけないでください。落下による故障、けがの原因となることがあります。

■スピーカーケーブルは安全な場所へ



配線された場所によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを利用した場合や高い所に置いた場合、また壁に掛けた場合などは、特にご注意ください。

■次のような場所に置かない



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気が当たる場所や、埃の多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■接続について



本機を他のオーディオ機器やテレビなどに接続する場合は、それぞれの取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。

■使用上の注意



電源を入れる前にアンプの音量は最小にしてください。過大入力でスピーカーが破損したり、聴力傷害などの原因となることがあります。長時間、音がはずんだ状態で使わないでください。スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。音量は上げすぎないでください。大音量で長時間聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で本機が使えなくなったり、データが消滅することがあります。